

電源スイッチ（スライドスイッチ）の接点を復活する

2019.05.26

トミー・マック

1. 要点

スライドスイッチの電源スイッチは、入り切りを繰り返すことで接点が磨かれますが、入り切りをしないで長期間保管すると、接点が空気に触れて腐食してしまい、接点不良になります。

2. 方法

(1) 簡易的な接点の復活

スライドスイッチの単体が露出している場合

スライドスイッチのつまみの根元に接点復活スプレーを吹き込み、間接的に接点へ塗布します。その後、つまみを入り切り 10 数回動かします。うまくいけば接点が復活（通電可能）します。ダメな場合はスライドスイッチ単品を分解します。

スライドスイッチが露出していない場合

ケースを開き、スライドスイッチ内部のスライド接点部に接点復活スプレーを吹き込み、接点へ塗布します。

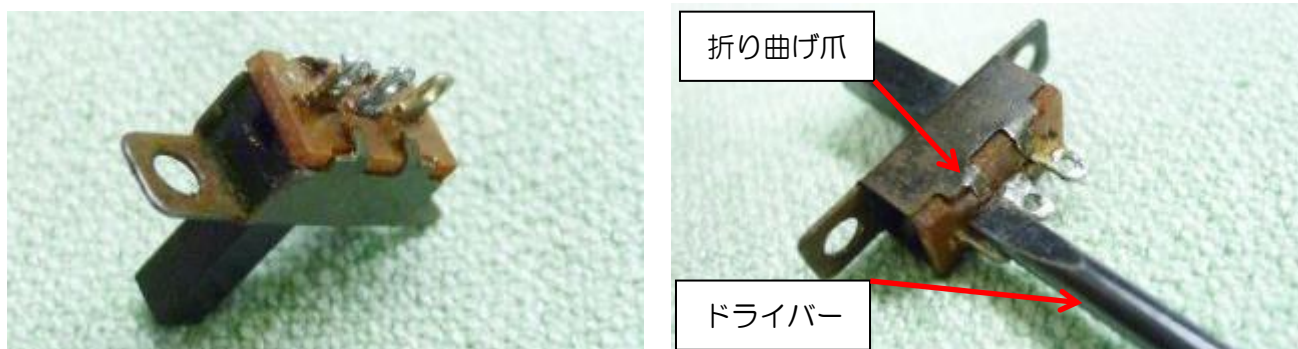
その後、つまみを入り切り 10 数回動かします。うまくいけば接点が復活（通電可能）します。ダメな場合はスライドスイッチ単品を分解します。



電源スイッチ（スライドスイッチ）の接点を復活する

(2) スライドスイッチ単品での接点の復活

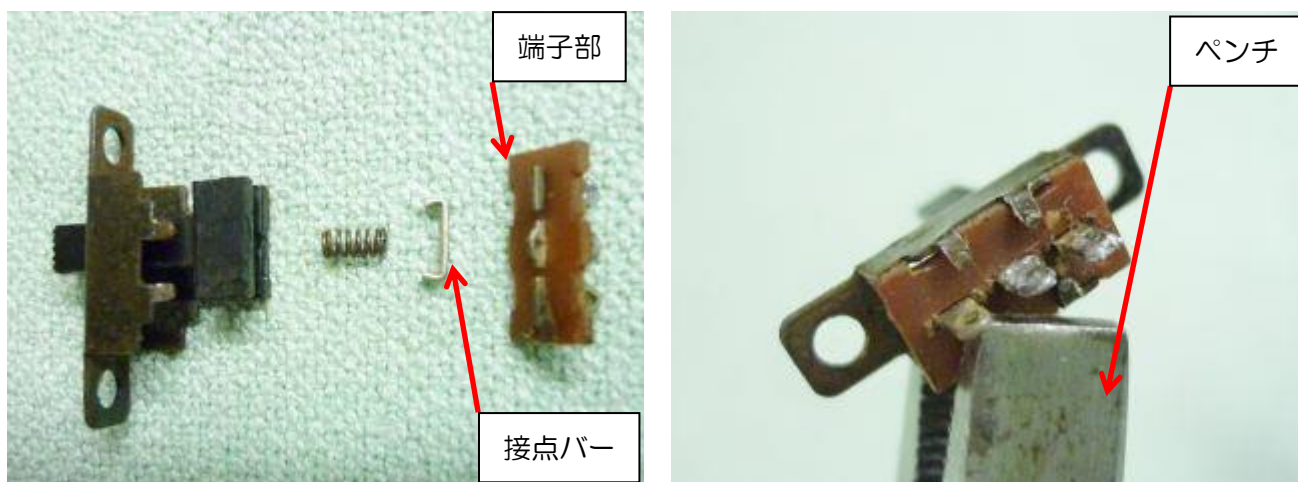
金属ケースの折り曲げ爪 4カ所を、幅 2mm のマイナスの精密ドライバーで起こします。



全ての折り曲げ爪を起こし、端子部を持ち上げます。分解すると、左から金属ケース、つまみ、バネ、接点バー、端子部になります。

接点バー、端子部の接点の錆や汚れを細かいやすりで研磨し、スライドスイッチを組み立て、接点復活スプレーを吹き付け、最後に金属ケースをペンチで折り曲げて完成です。

接点の確認は、テスターの抵抗値あるいは導通チェック機能で行います。



終わり